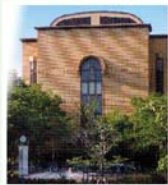


花緑コース 4.6km 徒歩2時間

市バス停「大正区役所前」 スタート

コミュニティセンター

区民のコミュニティづくりの拠点として、また、貸し館業務（使用料はお問い合わせください TEL6553-5511）や、書道・華道・茶道・ヨーガ教室など気軽に利用できる施設です。また、施設内には、大正区の立体模型もあり、1階には図書館もあります。コミュニティセンター前の「噴水広場」は地元の人たちの憩いの場となっており、江戸時代の大正区の風景を描いたパネルも設置されています。



6 昭和山 「昭和山」パネル



千島体育館前の「せせらぎ」では、デッキを持ったおじいちゃんが音楽を聴きながら物思いにふけていたり、仲のよいご近所さん達が集まり、会話を花を咲かせています。昭和山は標高33m、何十種類の植物が生い茂っており、頂上からは千歳橋や港大橋、金剛・葛城・二上の山々が見えます。ここから眺める夕日も格別です。小林方面へ下ったところにある公園内のベンチは、将棋を楽しむ愛好者の憩いの場になっています。



7 落合上渡船場



千島1丁目と西成区津守とを結ぶ渡船です。川に囲まれた大正区ならではの乗り物です。渡しから眺めることができる水門は、三軒家水門と木津川防潮水門です。水門は大きくてダイナミック!! 木津川防潮水門は月に1回点検のため閉まります。その日に当たれば、あなたはラッキー?!

木津川沿岸

木津川は江戸時代から、大阪の経済を支える大動脈として、北前船をはじめ全国の船が入り出して賑わいました。当時を思って、川面を眺めれば、また違った木津川が見えてきます。渡船場（大正区側）にあるパネルにも、その歴史が記されています。

市バス停「小林東一」

小林地域は、大正時代から昭和40年代まで西日本有数の材木の町として栄えました。当時は貯木場が広がっていましたが、戦後大阪復興計画により、平尾貯木場（現住之江区）へ移転しました（昭和47年）。地名の由来は小林新田を開発した岡島嘉平次さんの出身地（千林村）からとっています。

8 千島下水処理場（せせらぎの里）



せせらぎの里は、おしゃれなオープンガーデンになっています。せせらぎ（小川）の上流にはアヒルがたくさん飼われています! なんと、2階の事務所の職員に申し出てもらえばアヒルにエサをあげることができます。

このアヒルは子どもたちに大人気! 1日約20人ものお客さんを相手にしています! エサは、学校給食のパンの残りを子どもたちが持ちやすいように小さなバケツに入れて渡してくれます。

下水処理場 壁画（南側）

下水処理場の南側の壁面には、小林小学校の児童によって描かれた壁画があり、通りをおしゃれに彩っています。



小林公園 緑がいっぱいの小林公園を通れば、気分爽快!

「小林」パネル

平尾玄開公園

公園の東側には、明治42年の「北の大火」で焼け出された市民の収容先になるとともに、その後、第1次世界大戦のあと、大正3年（1914年）に、ドイツ兵の捕虜収容所となり、760名もの兵等が演劇や音楽会、あるいはサッカーを楽しんだ施設がありました。

「大阪俘虜収容所」パネル

サンクス平尾は下町情緒あふれる商店街。沖繩の土産を売っているお店もたくさんありますよ。



平尾公園

「平尾」パネル

大正中央中学校

校庭に、材木橋と嘉平次橋の親柱が築山となっています。東側の道路から見ることができます。

アセリア 大正

300人を収容できるコンサートホールやちょっとしたレコーディングもできるスタジオ、屋内温水プール、体育館まである、欲張りな文化交流施設です。



市バス停「小林」 ゴール



- 凡例 -

- 官公署等
- 公園
- ◇ その他目印施設
- ☆ 史跡・パネル
- 自転車道
- 赤バス [平成18年3月まで6] 運行予定]
- 市バス
- 〒 郵便局
- ⊕ 神社
- ⊕ 寺
- 幼 幼稚園